

### 令和6年度第3回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和7年3月25日（火）13：00～14：20

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・教授
3	吉田 悦教	常任理事・特任教授
4	山浦 裕幸	大学副学長・経済学部長・教授・理事・評議員
5	横山 洋子	こども学科長・教授・評議員
6	原田 浩二	高校副校長・評議員
7	平林 隆	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	横田 秀人	高校教頭・評議員
9	秋元 浩	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
10	亀田 洋子	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
11	幅 淳徳	千葉経済大学父母の会会長・評議員
12	藤井 修	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
13	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
14	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
15	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・理事・評議員
16	山田 清實	元伊藤忠エネクス取締役会長・評議員
17	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
18	村松 重彦	(学)聖メリー学園理事長、社会福祉法人小ばと会理事長・評議員
19	石渡 哲彦	株式会社千葉銀行顧問・評議員
20	佐久間 道子	評議員
21	栗沢 尚志	大学教授・評議員
22	藤代 謙二	(株)ちばぎん総合研究所顧問・評議員
23	藤生 裕	大学教授・評議員
24	積田 悟	前高校副校長・評議員
25	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
26	青柳 俊一	(株)千葉興業銀行会長・学園監事
27	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

#### 議題

##### 【1】令和6年度補正予算について

議長の指名により、浅井 優規 会計課課長補佐から、別添1「令和6年度資金収支補正予算書・事業活動収支補正予算書」に基づき、科目ごとに6年度当初予算に対する6年度補正予算の増減額及び増減理由の説明があった。

##### 【2】令和7年度事業計画について

議長の指名により、平林 隆 法人事務局長から、別添2「令和7年度事業計画(案)」に基づき、千葉経済学園中期計画(令和6年度～令和10年度)の機関別事業計画に記載の無い事項について学園全体及び各学校の令和7年度事業計画が説明された。

[千葉経済大学附属高等学校]

- 「令和の日本型学校教育」の実現に向けた教育  
新学習指導要領の提唱する「主体的・対話的で深い学び」の実現に努め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現に努める。
- タブレットを活用した授業実践  
全学年へ導入されているタブレットの授業等での積極的な活用を通じて主体的な学びを促進する。主に使用するアプリケーションである Teams や Classi の研修を継続する。
- 観点別評価を活かした向学心の促進と「キャリアパスポート」による指導の充実  
3観点(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)の評価を活かして学習支援に努め、「キャリアパスポート」に学内外での主体的な活動を記載させて自らの成長を確認させる。
- 普通科の教育充実  
特進コースでは、NOLTY スコラ、特進講座、スタディーサプリ等の ICT 有効活用

をさらに駆使して、難関大学への進学実績を高めていく。

文理一般コースでは、教科横断的な学習「総合的な探究の時間」の充実を図り、これからの時代を生き抜くために必要な《自己表現力》と《行動力の向上》を目指す。

● 専門科の教育充実

商業科では、3年間のカリキュラム総括である「課題研究」では《考え抜く力》《チームで働く力》《前に踏み出す力》を養い、多様な問題に対応できる課題解決能力の育成を図る。

情報処理科では、同じく3年間のカリキュラム総括である「課題研究」で《発想力》《表現力》《分析力》の向上を目指す。

● 部活動の意義を踏まえた振興充実

● 教員研修の充実

● 定員確保のための生徒募集活動

● いじめ及び体罰の防止による健全な教育活動の展開

いじめ及び体罰の防止に平素より務めて、健全な教育活動の展開に努める。

● 施設設備の改修

旧短大2号館B棟1階の家庭科室とトイレの改修工事を行う。

● 校舎の名称変更

校舎の呼称を、次のように変更して分かりやすくする。

- ・ 1号館（現：学園本部棟）
- ・ 2号館（現：新館）
- ・ 3号館（現：東校舎）
- ・ 4号館（現：西校舎）
- ・ 5号館（現：旧短大棟）

【3】令和7年度予算について

議長の指名により、浅井 優規 会計課課長補佐から、別添3「令和7年度資金収支予算書・事業活動収支予算書」に基づき、科目ごとに6年度補正予算に対する7年度予算の増減額及び増減理由の説明が行われた。

#### 【4】その他（報告事項等）

##### 近況報告

原田 浩二 高等学校副校長より近況報告があった。

3月1日に卒業式を迎え546名の生徒が無事、卒業して行きました。進路状況は大学進学では総合型公募推薦を決めた上で一般選抜等も受けた生徒もあり48校の大学に合格しております。おもな大学としては千葉大学を始め上智大学、GMARCHは13名です。成成明学獨國武と呼ばれるような大学は7名、日東駒専で8名でした。今年度、英検の准1級を合格してCSEスコアを利用した生徒が、他の教科も含めて立教大学に4名、上智大学に1名合格を決めております。

専門科の情報処理科・商業科については、3年間の学習の集大成だった課題研究の充実をはかっています。専門科の情報処理科・商業科については、3年間の学習の集大成だった課題研究の充実をはかっております。商業科では商品開発から販売、株主総会に至るまで校内及び校外でも商品の販売及びサービスの展開を行ってきました。情報処理科は初めての課題研究の卒業制作で、さまざまな作品作りに挑戦をしました。作品は、プログラミング・ゲームと言った内容で、ゲーム作成したグループはYouTubeにアップをして本格的作品が完成しました。また、経済産業省が主催する情報処理技術者試験では、2年生がITパスポート、情報セキュリティマネジメント、基本情報技術者、応用情報技術者等の国家試験に合格しております。

部活動では、ソフトボール部が全国優勝、柔道部の男子が個人-60Kg級で全国準優勝をはたしました。また、生徒会活動も果敢に挑戦しており銚子電鉄との商品開発のコラボレーションを進めているところです。

4月の入学予定は、637名の入学生を迎える予定になっています。

##### ・意見

今後も15歳人口はより減少していく見込みのなかで、この対策でどの程度の効果を見込んでいるのか。学校の良さをアピールする方法を検討してほしいという意見があった。